

オンラインガイダンス

- ニューノーマルな人材育成サポートツールのご紹介 -

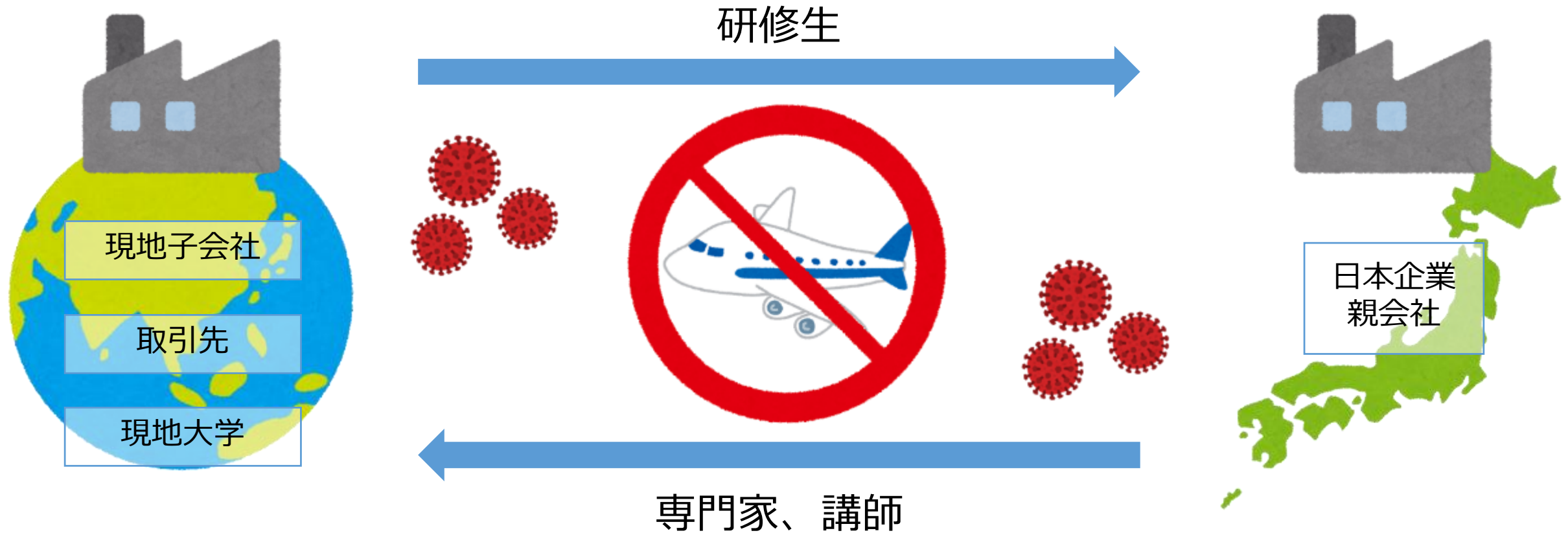
一般財団法人 海外産業人材育成協会(AOTS)

The **A**ssociation for **O**verseas **T**echnical Cooperation and **S**ustainable Partnerships(AOTS)

2021年 7・8・9月開催

1. イントロダクション

現状



- ・ 出入国の制限があり、従来のような人の往来を伴う海外現地人材の育成ができない状況…。

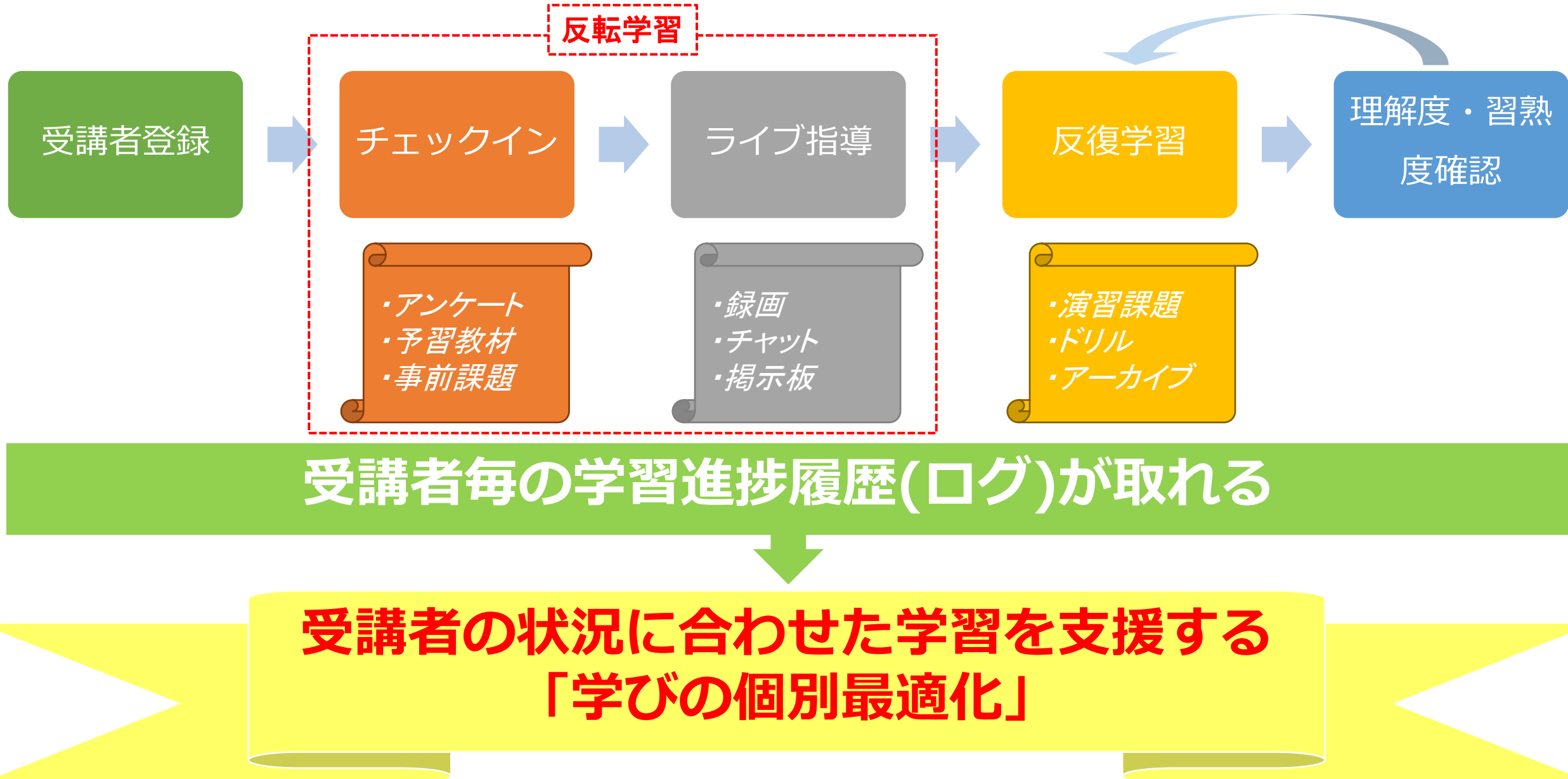
AOTSからの提案



- ・ 遠隔研修・指導にかかる経費の一部に国庫補助が適用。
(例：遠隔化支援コンサルティング、教材作成、ウェアラブルカメラ、Web会議システム 等)

⇒試しにやってみませんか？

ICTやデジタル技術利用の“遠隔指導”の利点



ご活用例①

(例)海外現地法人における生産工程の工程改善研修を遠隔で実施したい場合

計画/
申請

- ・ 研修計画の作成、対象者の選定、**通信環境の確認**
- ・ **コンサルティング**へ遠隔化に向けた事前相談(あくまで相談ベース)
- ・ 遠隔研修のためのツール(ウェアラブルカメラ、Web会議システム等)の選定
- ・ 自習用のeラーニングコンテンツ(オンデマンド教材等)作成の可否検討

審査承認前は
一部補助対象外

審査承認

準備

- ・ **コンサルティング**と直接契約を締結し、研修計画の詳細作り込み
- ・ 現地工場の実情、日本工場のモデルとなる工程を動画撮影し、比較検証用の**動画教材**を作成
- ・ 遠隔研修のための**ウェアラブルカメラ**、自習用の**eラーニングコンテンツ**の手配
- ・ 遠隔研修実施のための**管理ツール**の手配
- ・ 対象者の確定、**通信環境**の再確認

補助対象範囲についてはご申請前にご相談ください

実施

- ・ **Web会議システム**を用いた工程設計についての座学・講義
- ・ 現地と日本の工程比較した**動画教材**を使っでの工程分析、工程改善の手法を指導
- ・ **スマートグラス**を活用し、よりリアル・実践的な工程の違い(現地⇔日本)の確認・指導
- ・ オンデマンド型の**eラーニング教材**による自習と、**管理ツール**によるオンラインでの理解度確認

ご活用例②

(例)海外現地法人でVRや作業分析ソフトを活用した業務改善を実施したい場合

計画/
申請

- ・ 研修計画の作成、対象者の選定、**通信環境の確認**
- ・ **コンサルティング**へ遠隔化に向けた事前相談(あくまで相談ベース)
- ・ 遠隔研修のためのツール(VR、作業分析ソフト等)の選定
- ・ 自習用のeラーニングコンテンツ(オンデマンド教材等)作成の可否検討

審査承認前の費用は原則補助対象外ですが、遠隔指導導入に係るコンサル費用等については、**AOTSからコンサルに業務発注することで、実質的に補助金適用可能**です！

審査承認

準備

- ・ **コンサルティング**と直接契約を締結し、研修計画の詳細作り込み
- ・ 現地工場の実情、日本工場のモデルとなる工程を撮影し、研修用・自習用の**VRコンテンツ**を作成
- ・ **アイトラッキングカメラ、作業分析ソフト等**による暗黙知を形式知化した**研修教材の作成**
- ・ 遠隔研修実施のための**管理ツール**の手配
- ・ 対象者の確定、**通信環境**の再確認

実施

- ・ **Web会議システム**を用いた工程設計についての**座学・講義**
- ・ 現地と日本の工程比較した**作業分析ソフト**の動画・データによる工程改善の手法を指導
- ・ **VR**を活用し、よりリアル・実践的な工程の違い(現地⇔日本)の確認・指導
- ・ **VRコンテンツ**による自習と、**管理ツール**によるオンラインでの理解度確認

ご活用例③

(例)海外現地法人社員に学習管理システム（LMS）を活用して 機械整備の知識・技術の伝達を実施したい場合

計画/
申請

- ・ 研修計画の作成、対象者の選定、**通信環境の確認**
- ・ **コンサルティング**へ遠隔化に向けた事前相談(あくまで相談ベース)
- ・ 遠隔研修のためのツール(LMS、Web会議システム等)の選定
- ・ 配信用コンテンツ(動画、テキスト、理解度テスト等)作成の可否検討

審査承認前の費用は原則補助対象外ですが、遠隔指導導入に係るコンサル費用等については、**AOTSからコンサルに業務発注することで、実質的に補助金適用可能**です！

審査承認

準備

- ・ **コンサルティング**と直接契約を締結し、研修計画の詳細作り込み
- ・ 日本工場の技術者の作業を撮影し、習熟ポイントをわかりやすくした**動画教材を作成**
- ・ 現地法人社員の理解度を確保するためのテストを作成
- ・ 遠隔研修実施のための**LMS導入**の手配
- ・ 対象者の確定、**通信環境**の再確認

実施

- ・ **eラーニング**を用いた機械整備の知識・技術についての**自習**
- ・ **LMS**を用いた現地法人社員の**受講状況や理解度などの確認**
- ・ 理解度の低い現地法人社員に対して**Web会議システム**などを使った**補講**を行い、**LMSで理解度を再確認**
- ・ 受講後に受講成績、回答結果、アンケートなどをLMSで分析し、フィードバック

ご活用例④

(例)海外現地法人社員向けのマーケティング研修を遠隔で実施したい場合

計画/
申請

- ・ 研修計画の作成、対象者の選定、**通信環境の確認**
- ・ マーケティングをテーマとした既存のeラーニングコンテンツを選定
- ・ 企業独自の営業方針について別途オンライン講義で補足するための人員を確保

審査承認前は
一部補助対象外

審査承認

準備

- ・ マーケティングをテーマとした既存の**eラーニングコンテンツ**を手配
- ・ オンライン講義のための**Web会議システム**を手配(既に利用している場合は新規手配不要)
- ・ 対象者の確定、**通信環境**の再確認

補助対象範囲についてはご申請前にご相談ください

実施

- ・ 研修計画の全体説明(イントロダクション)
- ・ オンデマンド型の**eラーニングコンテンツ**による自習
- ・ **Web会議システム**での企業独自の営業方針をオンライン講義で補足

2. 遠隔化ツール、サービスのご紹介 および特別講演

ご登壇企業様・特別講演のご紹介

ご登壇順に記載

第1回 (2021.7.20)	第2回 (2021.8.24)	第3回 (2021.9.15)
株式会社 NTTドコモ 様 「Global版AceReal」 遠隔ツール (スマートグラス×5G) 「Realwear」 (現場作業向けのスマートグラス) 「AVATOUR」 (360度立体空間映像)	株式会社 クリーク・アンド・リバー社 様 「コンサルティング・サービス」 (遠隔化導入支援) 「ファストVR」 (教育VR作成のセルフサービス)	株式会社 ジンジャーアップ 様 「eラーニング マネージャーZ」 (学習管理システム (LMS))
株式会社 CADネットワークサービス 様 「まなVRクラウド」 (配信型VR学習サービス) 「研修コンテンツ制作」 (動画・VR)	株式会社 産業革新研究所 様 「OTRS 10」 (動画を使った海外現場の作業教育) 「tobii pro」 (視線・生体計測技術を使った暗黙知の形式知化)	野中 帝二様 (トリニティプログラム代表 中小企業診断士、ITコーディネーター) 特別講演 「デジタル技術を用いた技術移転の進め方と留意点」

オンラインガイダンス アーカイブのご案内

公開中

ガイダンスのアーカイブ動画をAOTS HPからご覧いただけます。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/online-guidance/>



ガイダンスに関するお問い合わせ、個別のご相談はこちらから

**海外研修(案件募集型)
専門家派遣、技術研修**

研修・派遣業務グループ

☎ : 03-3888-8221

✉ : kigyo-inquiry-az@aots.jp



寄付講座

寄付講座グループ

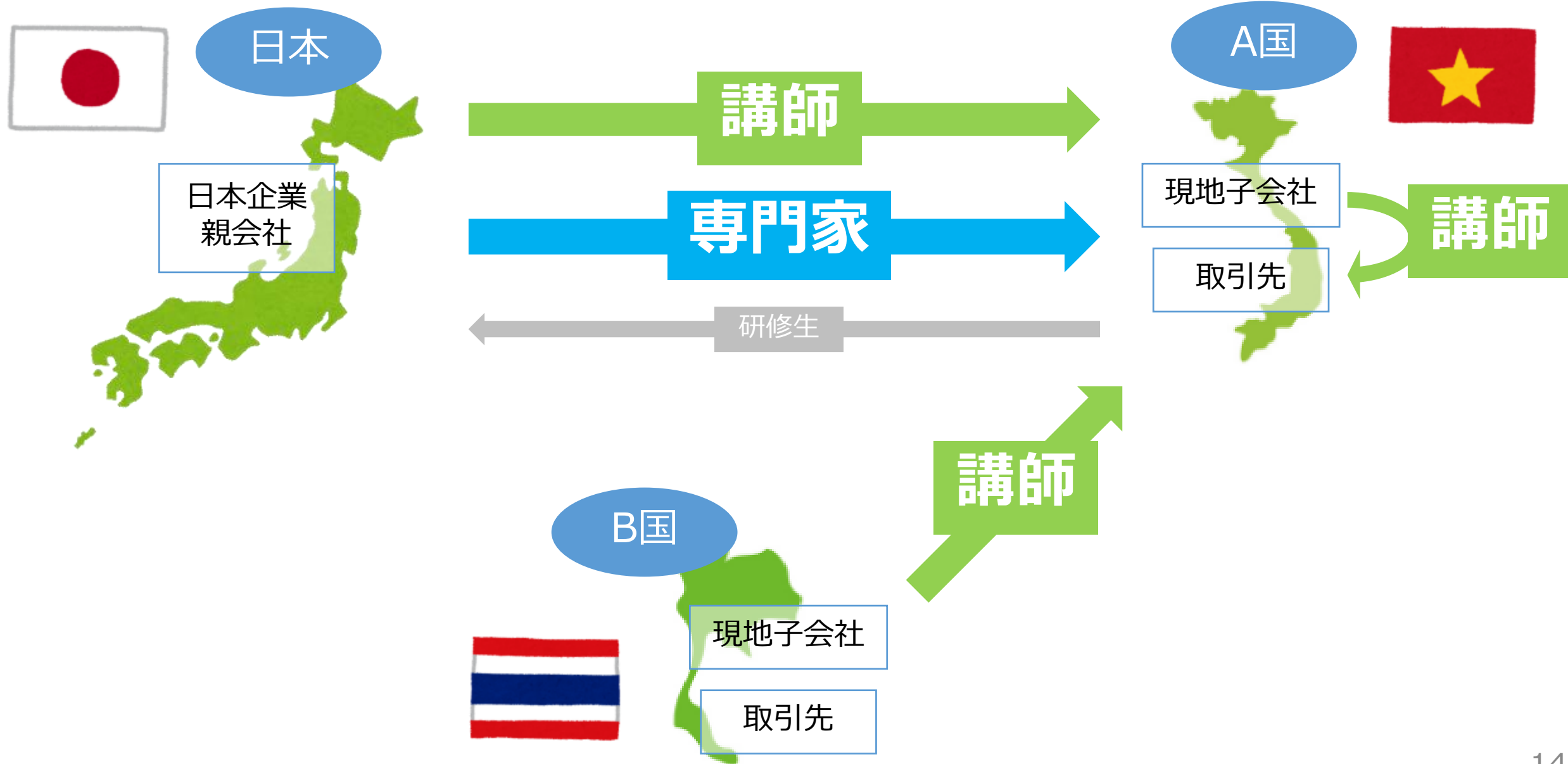
☎ : 03-3888-8238

✉ : indus-acad-collab-pg@aots.jp

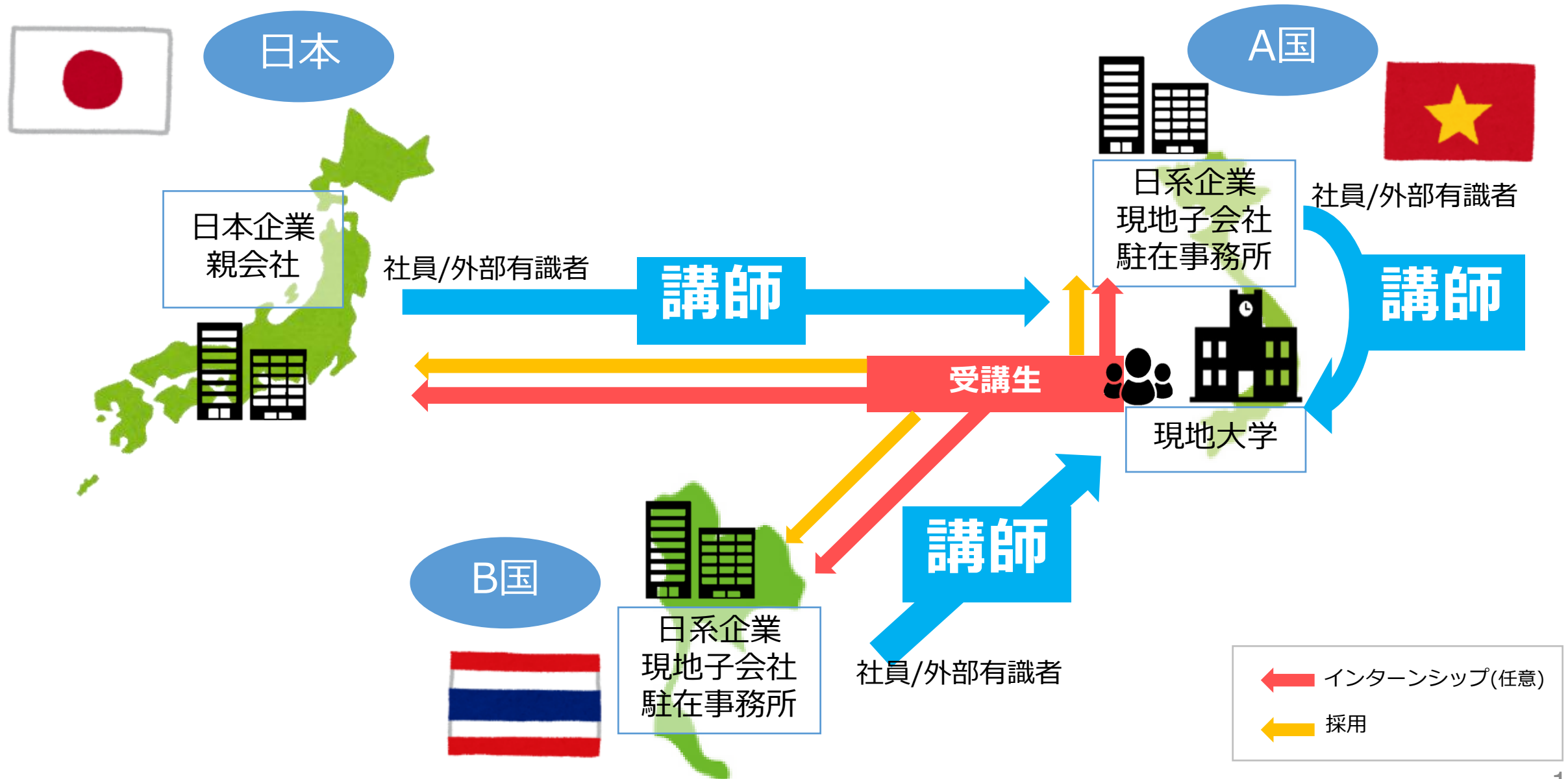


參考資料

AOTSの現地産業人材育成 概略図



AOTSの寄附講座 概略図



■ 技術協力活用型・新興国市場開拓事業 (研修・専門家派遣事業)

【事業目的】

国内市場の成熟や経済のグローバル化に伴い、我が国企業は、海外に進出し外需を取り込み、成長につなげていくことが不可欠となっており、現地の優秀な人材等の育成は主要な課題となっております。本事業では、我が国企業の海外展開に必要な現地拠点強化を支援するため、開発途上国における民間企業等の現地の人材育成を官民一体となり実施することにより、現地の産業技術水準の向上や経済の発展を図ることを目的とします。

■ 低炭素技術を輸出するための人材育成支援事業

【事業目的】

我が国中堅・中小企業の海外生産拠点を担う現地人材を育成することにより、我が国の省エネ技術の海外展開を促進し、アジアの産業分野におけるエネルギー利用の効率化を図り、温室効果ガスの排出削減に貢献することを目的とします。

よくある質問(技術研修)

1. 来日前に日本語を全く勉強していなくても一般研修コースに参加できますか？

参加できますが、J13W、J6Wコース参加の場合、eラーニングによる来日前の日本語学習及びひらがなカタカナ試験への合格を求めています。J13W、J6Wコースは日本語学習の初学者を対象として設計されていますが、学習効果を考えると来日前から平仮名、片仮名の読み書きなど日本語の学習を始めておくのが良いでしょう。

2. AOTSの一般研修コースに参加せずに直接企業での実地研修を始めることはできますか？

可能ですが、研修実施可能な言語環境があることが条件であり、研修期間は最大120日以内となります。また、過去5年以内に一般研修に参加した人は、一定の条件を満たす場合に限り、最大1年間の研修を行うことも可能です。

3. 一般研修コースの種類について、J13WかJ6W か迷っています。

J6Wは簡単な日常会話能力の習得を目標に約800の基本語彙、75の基本文型、仮名、漢字100字程度を、J13Wは実地研修や日本での生活に役立つ日本語能力の習得を目標に約1,400の基本語彙、150の基本文型、仮名、漢字300字程度を学習します。また、両コースともに講義や見学で日本の社会、文化、産業への理解を深めます。

*上記の目標は初めて日本語を学習する方の場合の目標数です。

4. 研修生を就労させることはできますか？

できません。研修生は「出入国管理及び難民認定法(入管法)」上の「研修」という在留資格で滞在していますので、この資格では働いて報酬を得る、いわゆる就労活動は認められません。

5. 研修生や受入企業を斡旋してくれるのですか？

AOTSでは研修生や受入企業の紹介、斡旋は行っておりません。

6. 中核人材の育成なので、研修生は大卒以上でなければなりませんか？

短大や高等専門学校卒にあたる方も本制度の対象となります。その他の場合については、研修を行う分野において十分な経験や職歴を持っており、かつ派遣企業の関係部部門において管理、監督的な役割を担うような方であれば対象にすることができます。

よくある質問(専門家派遣)

1. 派遣専門家の資格はありますか？

25歳以上69歳以下で、日本に住所を有する方(在住10年以上)です。また、指導分野に関して5年以上の日本国内業務経験が必要となります。

2. 指導先企業に赴任中の自社社員を本制度の専門家にできますか？

専門家は指導・助言のために協会の専門家として派遣されますので、指導先企業の経営者や工場長などの責任を持つポストに就くことは認められておりません。また、指導先企業への出向による駐在者も当専門家派遣制度の対象になりません。

3. 操業開始前の会社に専門家の派遣は可能ですか？

操業が開始されており、設備が稼働して指導対象者の従業員が雇用されていることが条件となっています。

4. 制度利用申込みは日本の本社又は海外法人どちらからすれば良いですか？

日本国内法人様からお申し込みをお受けしています。なお、現地ローカル企業の場合は、出資・商取引関係のある日本国内法人から申請をしていただければ可能です。

5. 派遣する専門家は自社社員だけですか？社外の専門家を派遣することは出来ますか？

派遣元企業と嘱託契約等雇用関係を結んでいただければ、ご利用可能です。

6. 専門家を派遣できる期間はどれ位ですか？

原則1ヶ月から12ヶ月です。ただし、予算の状況により期間調整となる場合があります。

7. 1社から複数の専門家を派遣することはできますか？

当年内で、新興国事業は20人月(例:10ヶ月×2名)、低炭素事業は25人月(例:5ヶ月×5名)まで可能です。ただし、派遣専門家毎に指導内容や目標設定を分けて頂く必要があります。詳しくはご相談ください。